

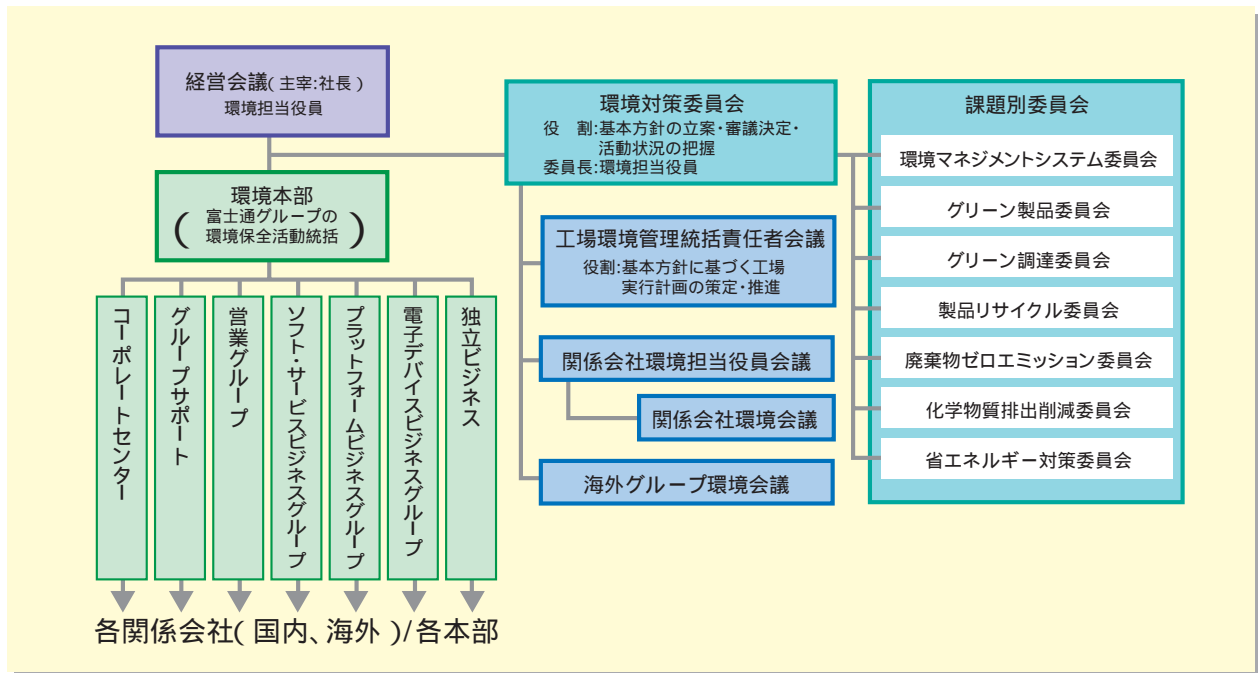
# 環境推進組織・会議/グループ一体となった取り組み

## グループの総合力を環境活動に活かす、推進組織と取り組み体制。

富士通グループとして、「環境行動計画」を着実に実行するために、次のような組織体制としています。これらの組織では、「環境行動計画」を推進する具体的な内容をブレイクダウンさせた活動をしています。

### 推進組織

従来富士通の各本部および関係会社は、それぞれ個別の事業活動をしていましたが、2002年4月より総合力を活かした「有機体経営」を追求するため、ビジネスグループ制を導入し機動性と相互の横断的連携を重視した組織を構築し活動を開始しました。環境活動もビジネスグループ制に則り活動し、経営層の意思決定通知および経営層への各ビジネスグループの課題の報告など迅速な対応ができるようになりました。環境本部は、グループ全体の活動をサポートし、環境活動の強化や支援などを行っています。



## グループ一体となった取り組み

### 関係会社環境会議

国内連結製造子会社を中心とした関係会社(36社)の環境担当責任者で構成された会議です。富士通グループとして活動を推進するため、環境行動計画の対策施策や達成見込みについて討議・決定しました(計2回、通算18回)。



関係会社環境会議

### 課題別委員会

富士通グループが一体となった環境活動を推進するために、課題別に委員会を設置。それぞれの委員会ごとに、環境行動計画の施策や達成状況の確認や報告が行われました。また、各社が持つ有効な環境技術・ノウハウを共有するための技術交流会も合わせて開催しました。

#### 課題別委員会

- 環境マネジメントシステム委員会
- グリーン製品委員会
- グリーン調達委員会
- 製品リサイクル委員会
- 廃棄物ゼロエミッション委員会
- 化学物質排出削減委員会
- 省エネルギー対策委員会